

# 衆議院内閣委員会ニュース

平成 27.7.8 第 189 回国会第 18 号

7月8日(水)、第18回の委員会が開かれました。

## 1 国会議事堂、内閣総理大臣官邸その他の国の重要な施設等及び外国公館等の周辺地域の上空における小型無人機の飛行の禁止に関する法律案(古屋圭司君外5名提出、衆法第24号)

- ・泉健太君外2名(民主)提出の修正案について、提出者泉健太君(民主)から趣旨説明を聴取しました。
- ・原案及び修正案について、提出者土屋正忠君(自民)、遠藤敬君(維新)、高木美智代君(公明)、濱村進君(公明)及び修正案提出者泉健太君(民主)並びに政府参考人、最高裁判所当局及び衆議院事務局当局に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・原案及び修正案に対し、塩川鉄也君(共産)が討論を行いました。
- ・修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。  
(賛成一自民、民主、維新、公明 反対一共産)
- ・修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。  
(賛成一自民、民主、維新、公明 反対一共産)

(質疑者及び主な質疑内容)

### 木内 均君(自民)

- ・ドローンをはじめとする小型無人機に関し、国の重要な施設等の周辺地域の上空における飛行に係る規制を議員立法で行おうとした経緯と理由について、提出者に伺いたい。
- ・本法案で対象施設及びその指定敷地等の上空でドローンを飛行させた者に対する直罰規定を設けたことによる効果と今後のドローン利用促進に向けての所見を提出者に伺いたい。

### 奥水 恵一君(公明)

- ・航空法改正等による今後の小型無人機の安全な運航のための規制等の在り方及び対象となる機体の性能や規格について、国土交通省に伺いたい。
- ・ドローンが災害発生時等に大いに活用されており利用促進が望まれていることから、その高速・長距離移動を可能とするため長距離伝送における高出力電波の利活用について、現在の検討状況を総務省に伺いたい。

### 泉 健太君(民主)

- ・本法案の提出に至る経緯及びドローンに対する見解を提出者に伺いたい。
- ・本法案における「国の重要な施設等」の判断基準について、提出者の見解を伺いたい。

- ・本法案について、報道関係者の理解は得られていると考えているか、また、今後どのように周知していくのか、提出者の見解を伺いたい。

### 松原 仁君(民主)

- ・国の重要な施設等への侵入手段は様々考えられる中で、本法案の規制対象をいわゆるドローンのみとした理由を提出者に伺いたい。
- ・本法案第5条の規定に基づく「対象外国公館等」として外務大臣が指定する可能性のある外国公館等はどこか、具体的に伺いたい。
- ・修正案において対象施設に追加することとされている「危機管理に関する機能を担う国の行政機関」及び「対象原子力事業所」とは何か具体的に伺いたい。

### 河野 正美君(維新)

- ・今まで国の重要な施設等において小型無人機の飛行制限が行われてこなかった理由について、政府に伺いたい。
- ・対象施設の管理者が警備等の目的で小型無人機を飛行させることは可能なのか、提出者に伺いたい。
- ・国会議事堂周辺の取材のため、報道機関が小型無人機を飛行させることは可能なのか、提出者に伺いたい。

## **小 熊 慎 司君（維新）**

- ・小型無人機の規制と利活用に対する基本的な考え方について、提出者に伺いたい。
- ・小型無人機の所有者を把握するために民間団体による登録制度を活用すべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。

## **塩 川 鉄 也君（共産）**

- ・政府提出予定の航空法改正案において小型無人機を飛行させる行為に対する罰則は罰金を予定しているのに対し、本法案において対象施設及びその指定敷地等の上空で小型無人機を飛行させる行為について飛行の内容や被害の内容を問わず一律に懲役刑を含む直罰を科すこととしていることは、刑罰法規としての合理性に欠くと考えるが、提出者の見解を伺いたい。
- ・小型無人機を飛行させる行為について、本法案及び政府提出予定の航空法改正案の両方が適用される場合が想定されるが、こうした場合において、両案において小型無人機の定義が異なっているのは不適切であると考え、提出者の見解を伺いたい。
- ・修正案における対象施設の追加について、防衛省、警察庁及び海上保安庁は対象危機管理行政機関に該当するのか、また、対象施設は今後追加される可能性はあるのか、修正案提出者の見解を伺いたい。